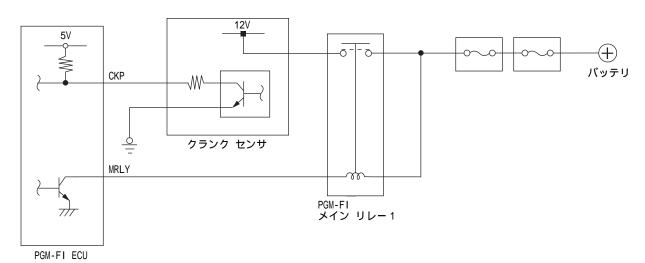
DTC P0339: クランク センサ ノイズ

## 検知原理解説



01\_P0335C\_TM8A00

クランク センサは、パルサ ロータとロータ位置を検出する半導体で構成されている。 エンジンが始動するとパルサ ロータが回転し、クランク センサの磁束が変動する。磁束の変動はパルス信号に変換され PGM-FI ECU に送られる。クランク センサは、各シリンダの点火時期制御および燃料噴射時期制御に用いられる。 クランク センサからの異常なパルス信号数を所定回数以上検出した場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

# 検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の)検知順序	なし
検知所要時間	
検知手法種別	1D/C( 単一検知手法 )、PGM-FI 警告灯: 点灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

## 検知実行条件

条件項目	
エンジンの状態	作動中
当該 DTC の検知禁止要求を行 う DTC	P0335

# 故障判定基準

パルサ ロータが1回転した時に検出されるクランク センサのパルス信号が58回以外となることが30回以上あった場合。

#### 推定故障部位

- · PGM-FI ECU とクランク センサ間コード (CKP ライン信号)にノイズが混入
- ・パルサ ロータの歯欠け
- ・クランク センサの故障
- · PGM-FI ECU 内部回路の故障

# DTC 解説

# DTC のストアとクリア

## DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

#### DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリ端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。